

平成23年度周産期保健医療連絡会議(大津)

2012. 6

1. 滋賀県における2010年新生児死亡・死産症例の原因
2. 滋賀県の妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査実施状況

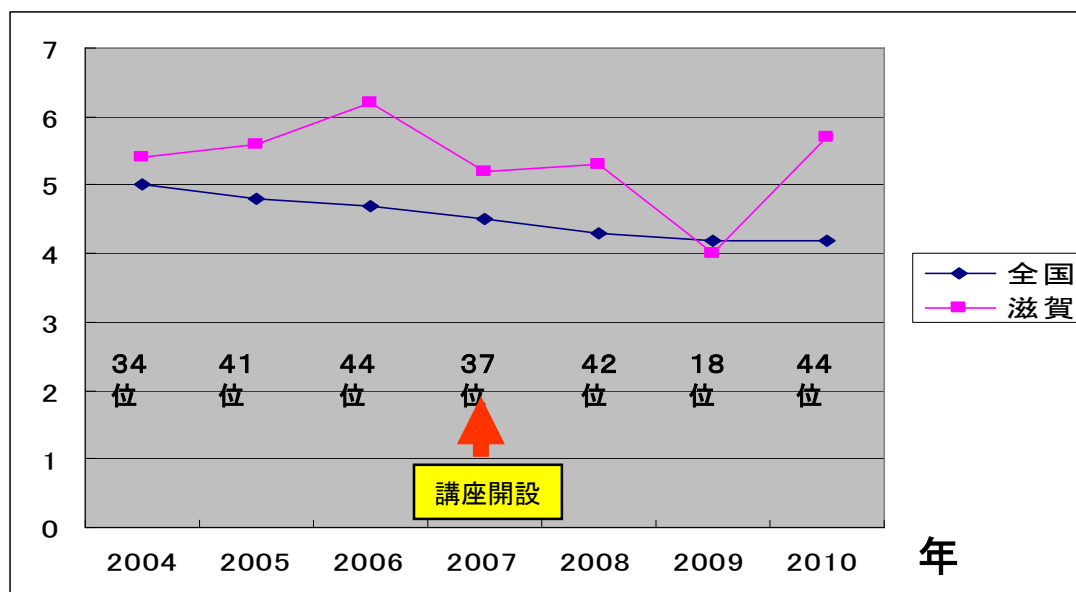
滋賀県産科婦人科医会 副会長

滋賀県HTLV-1母子感染予防対策検討委員会 委員長

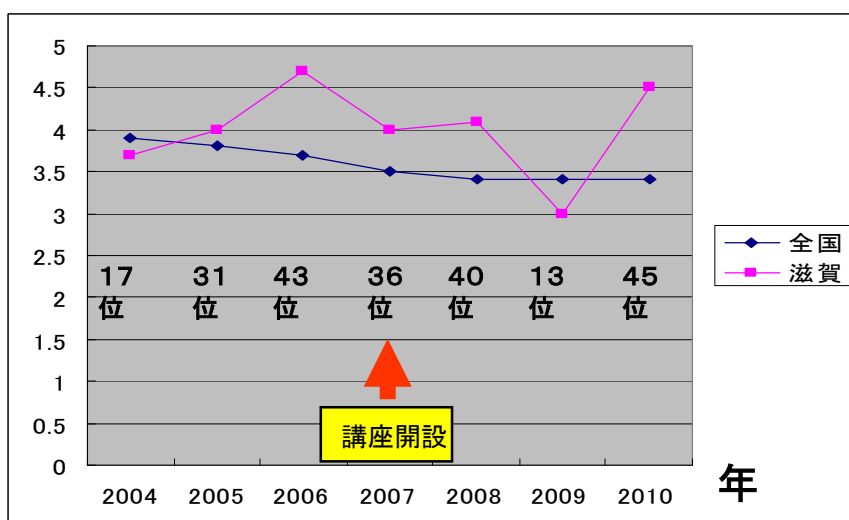
滋賀医科大学医地域周産期医療学講座 教授

高橋健太郎

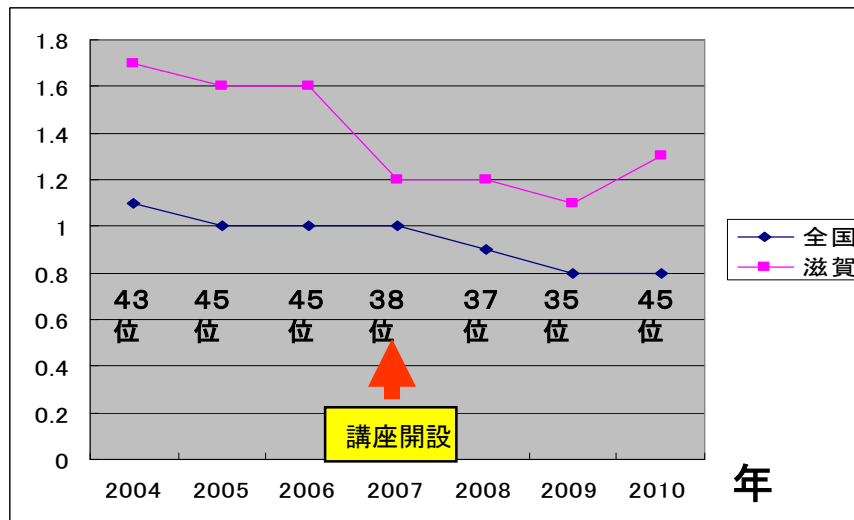
周産期死亡率(出産千対)



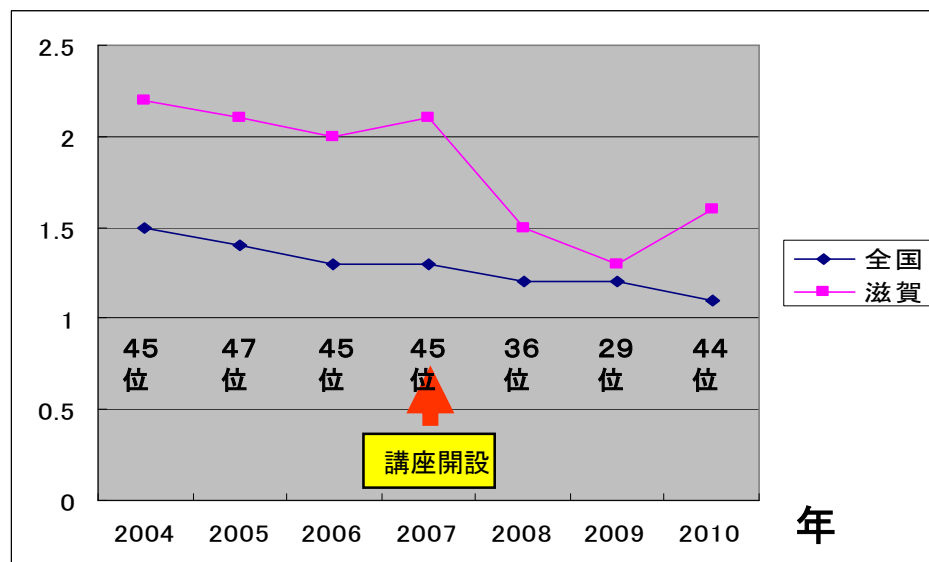
妊娠満22週以後の死産率(出産千対)



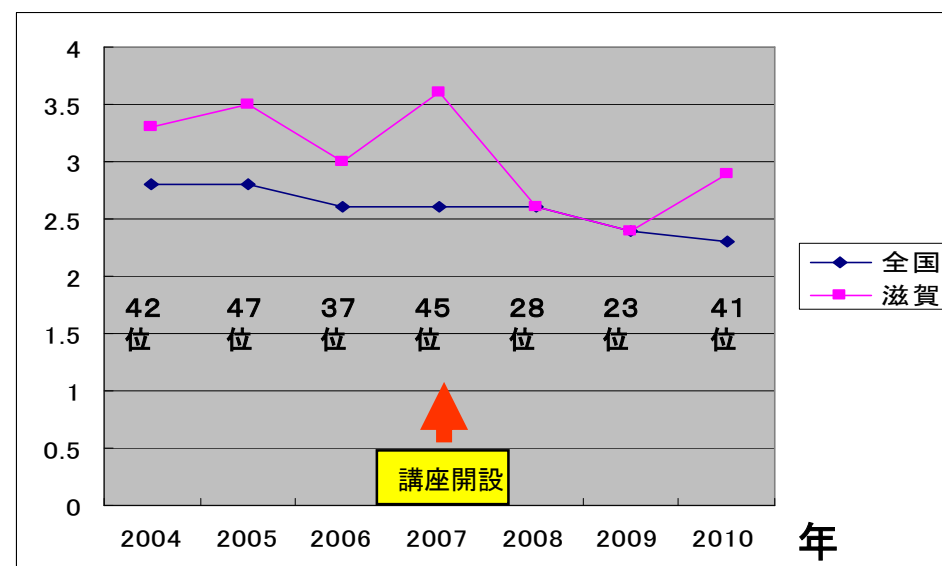
早期新生児死亡率(出生千対)



新生児死亡率(出生千対)

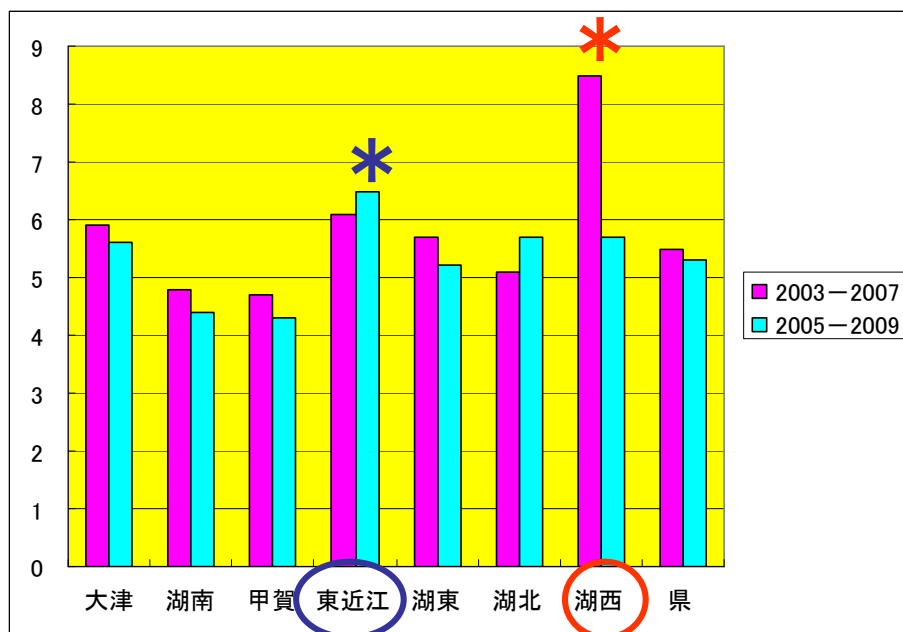


乳児死亡率(出生千対)

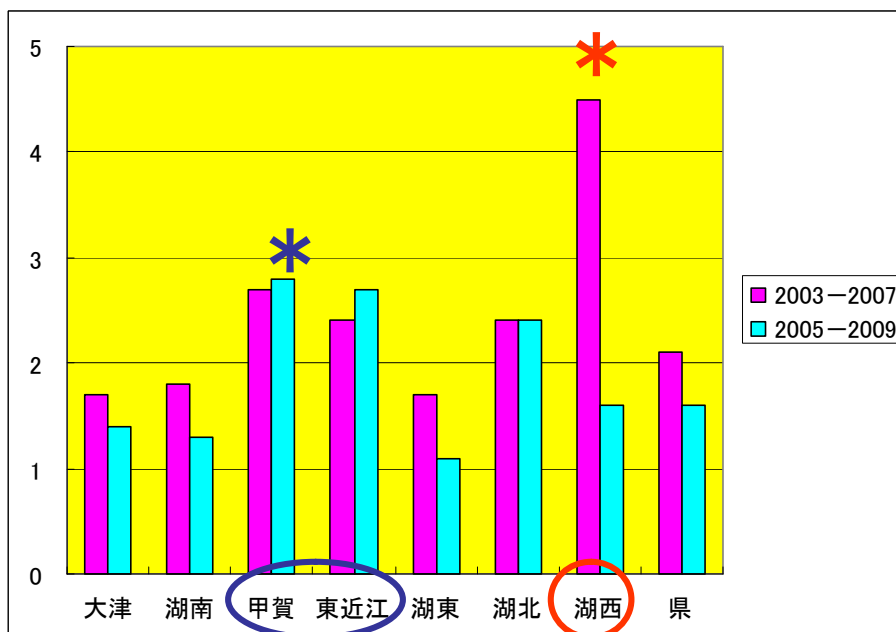


5年の平均値の圏域毎の周産期統計の推移比較

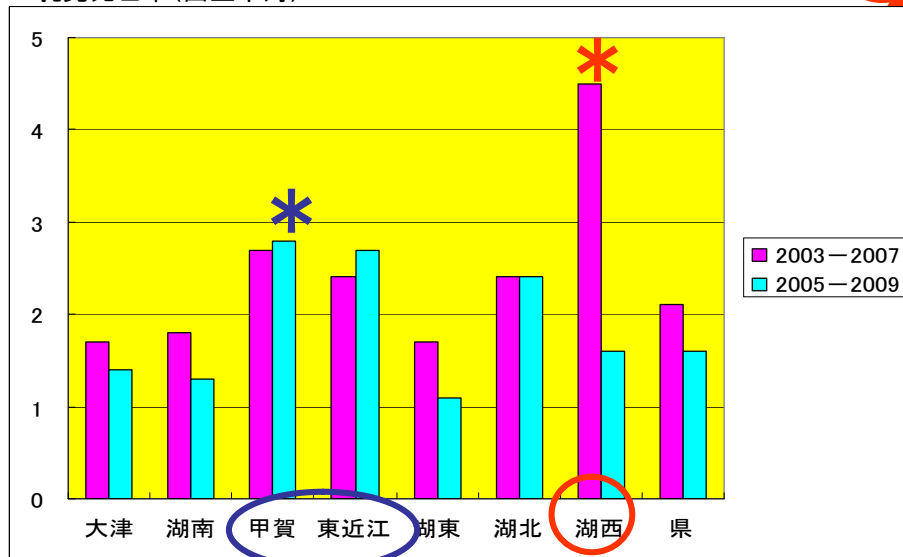
周産期死亡率(出産千対)



新生児死亡率(出生千対)



乳児死亡率(出生千対)



高島地域から
甲賀・東近江地
域へ

2010年 新生児死亡	症例数
看取り	5
集中治療・先天奇形有り	6
集中治療・先天奇形無し	11
計	22
新生児搬送あり	3
要検討(システム上)	5
産院死亡	2
県外死亡	3

解析率100%

新生児死亡の50%は先天奇形を有する

2010年 死産	症例数
臍帯関連	14
母体関連	11
胎盤胎児関連	10
原因不明	23

解析率85%

原因不明例が解析例の45%を占める

滋賀県HTLV-1母子感染予防対策研修会(大津)

2012. 2.9

滋賀県の妊婦健康診査における HTLV-1抗体検査実施状況

滋賀県産科婦人科医会 副会長

滋賀県HTLV-1母子感染予防対策検討委員会 委員長

滋賀医科大学医地域周産期医療学講座 教授

高橋健太郎

HTLV-1母子感染予防にかかる状況調査 (産婦人科医療機関)

○調査の概要

対象：県内の妊婦健康診査を実施している

産婦人科医療機関

実施時期：平成23年7月

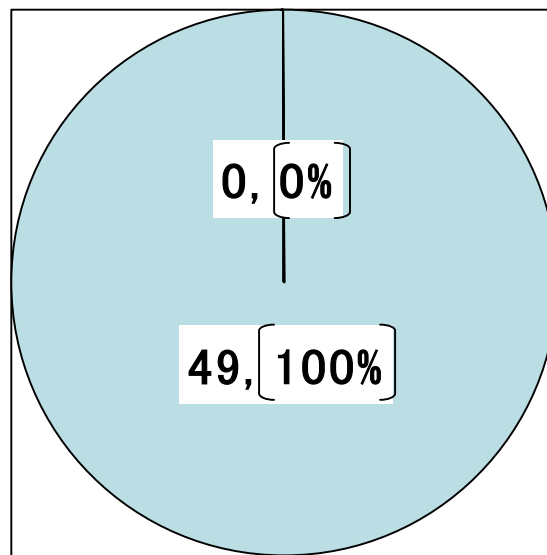
実施方法：郵送により調査票配布および回収

送付数	回答数	回収率
49	49	100.0%

※抗体検査陽性者数、確認検査(WB法)陽性者数
(平成23年1月～12月分)については、平成24年1月に調査

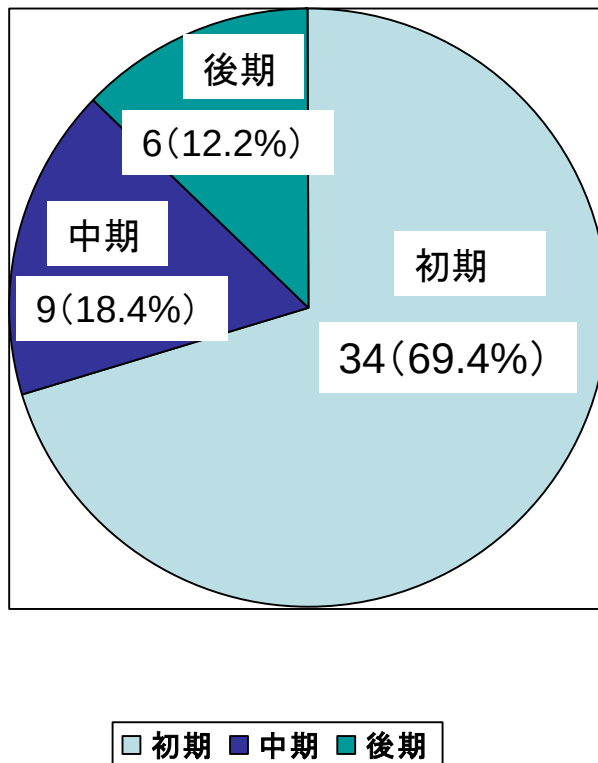
妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況

■ 原則、妊婦全員に実施している ■ その他



妊婦健診におけるHTLV-1抗体検査実施時期

検査実施時期の内訳(妊娠初期)



実施時期 (妊娠週数)	8～9 週	10～11 週	12～15 週	週数 未記入
医療機関数	14	12	7	1

検査実施時期の内訳(妊娠中期・後期)

	中期			後期
実施時期 (妊娠週数)	20～23 週	24～27 週	週数 未記入	28～30 週
医療機関数	2	6	1	6

抗体検査陽性者への確認検査(WB法)の実施

(医療機関数)

実施している		35
実施していない		12
内訳 (実施していない理由)	症例がないため、実施なし	8
	PA法なので確認検査と認識している	1
	未記入	4

未記入 1

妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査実施状況 (平成23年1月1日～12月31日)

○調査対象: 県内の妊婦健康診査を実施している産婦人科医療機関

実施時期: 平成24年1月

送付数 49(分娩取扱あり 38 なし 11)

回答数 48(分娩取扱あり 37 なし 11) 回収率 98.0%

		人	陽性者率 (年間分娩数からの推計)
HTLV-1抗体検査 陽性者数		24	0.19%
確認検査(WB法)実施者数		19	
結果内訳	確認検査 陽性	11	0.09%
	確認検査 判定保留	1	
	確認検査 陰性	7	0.05%

分娩数(H23年1～12月) 12,762件 (分娩取扱機関 回答 37か所)

HTLV-1抗体検査陽性妊婦への 保健指導の主な従事者

(複数回答)

	医師	看護師	助産師
病院 (13)	11	4	7
診療所 (35)	34	3	8
計	45	7	15

HTLV-1母子感染予防に関する 相談・保健指導の状況調査(市町、保健所)

(1) HTLV-1母子感染に関する相談・保健指導実績の有無 (平成22年12月1日～平成23年10月31日)

- ・ 市町母子保健主管課 あり→ 3 なし→16 (19市町)
- ・ 保健所 あり→ 1 なし→ 5 (6保健所)

【主な相談内容】

- ・母乳を本当にやめなければならないのか、母乳を与えた場合の児の発症の危険性
- ・母自身の発症について
- ・周囲の人(家族以外)に話しにくい。母乳を与えない理由をどう説明したらよいか
- ・母乳を与えたいが、冷凍保存処理や短期母乳育児への不安
- ・検査は全員受けられるのか、(里帰り出産)

(2) HTLV-1抗体検査陽性の妊産婦や新生児の支援について、医療機関からの 連絡実績の有無 (平成22年12月1日～平成23年10月31日)

- ・ 市町母子保健主管課 あり→ 1 なし→18 (19市町)